



さいたま市PTA協議会
http://www.saitama-city-pta.jp

いじめ防止スローガン
みんなで子育て よく見て、よく聞き、よく話そう!
見逃しません、子どもの小さな変化
ためらぬ、子どもとの対話
連携します、家庭・学校・地域

市P協 さいたま

No.43

令和4年6月29日
発行 さいたま市PTA協議会
編集 広報情報委員会
事務局 さいたま市大宮区吉敷町1-124-1
大宮区役所4F
TEL 048-647-4401
印刷 株式会社エース広告

教育に関わるPTAの役割

～コロナ禍における家庭教育の重要性～

令和4年度、会長を務めさせていただくことになりました。溝口景子です。まずは、このような機会をいただけたことに、心より感謝申し上げます。そして、1年間、皆さまには大変お世話になりました。どうぞよろしくお願いたします。

岡野前会長のもと掲げられてきた基本方針「さいたま市の宝である子ども達の健全育成を目指し、共に学び、共に成長出来るPTA活動を実践する。」を継承し、皆さまのご協力をいただきながら、しっかりと活動を行ってまいります。

今年度、さいたま市PTA協議会は新しいステージ、創立21周年を迎えます。20年という深く刻まれた年輪を土台に、時代に応じた環境づくりを考えると共に、令和4年度も子ども達の健やかな成



さいたま市PTA協議会
会長 溝口 景子

長と夢や希望を育むよう、家庭・学校・地域で協働し歩んでいきたいと考えております。

現在、PTA活動においても、様々な場面でICTが多く活用されるようになってまいりました。世の中がこのように便利になっていく中ではあります。やはり、「人と人とのコミュニケーション」は大切にしたと考えるべきです。昨今、PTAに関して様々なご意見が言われておりますが、子どもを想う親の気持ちには、いつの時代も変わるものではないと思っております。会員の皆さまとは、同じ時代に同じ地域で子育てをしている仲間同士、心を寄せて親睦を深め、共に学び成長できる、そして、常に穏やかなハーモニーを感じられる身近な存在の協議会でありたいと考えております。

会員の皆さまにおかれましては、今後も変わらず、当会の活動へのご理解ご協力をいただきますよう、何卒よろしくお願申し上げます。1年間、どうぞよろしくお願いたします。



さいたま市PTA協議会
岡野育広 前会長



令和3年度の事業報告、会計報告、今年度の新役員選任、事業計画及び、予算案すべて承認された。今年度より会長には与野南中学校溝口景子会長が就任し新体制でのスタートをした。

令和3年度の事業報告、会計報告、今年度の新役員選任、事業計画及び、予算案すべて承認された。今年度より会長には与野南中学校溝口景子会長が就任し新体制でのスタートをした。

令和4年度 新会長挨拶

退任会長挨拶

令和4年度 定期総会

令和4年度、会長を務めさせていただくことになりました。溝口景子です。まずは、このような機会をいただけたことに、心より感謝申し上げます。そして、1年間、皆さまには大変お世話になりました。どうぞよろしくお願いたします。

令和元年6月より3年間、さいたま市PTA協議会会長を務めさせていただきました。皆様のおかげで、無事に任期を全うし新会長にバトンを渡すことが出来ました。

皆様、ありがとうございました。

令和4年6月18日(土)「RainBoC Hall」(新さいたま市民会館おみや)にてさいたま市PTA協議会定期総会が行われた。

新型コロナウイルス感染症の影響で2年間、書面決議を行うなど規模を縮小したかたちでの総会の開催だったが今年度は感染対策をしっかりと行った上で、清水勇人市長、阪本克己さいたま市議会議長、細田真由美教育長をご来賓にお迎えし、各学校のPTA会長が出席のもと、定期総会を開催することができた。

緑区PTA 連合会紹介

さいたま市PTA協議会は10区の連合会(区P連)で構成されている。区P連はそれぞれ特色のある運営を行っている。そこで、なかなか知る機会の少ないその活動の様子をシリーズで紹介する。今号では緑区を取り上げる。

緑区内にある貴重な財産であり広大な緑地空間である見沼田んぼ保全のため、見沼田んぼキレイ大作戦と銘打ち3月にごみ拾いが行われている。緑区連では毎年メンバーを派遣して実行委員として参加し、参加者の募集や当日のサポートなどを地域の方々と協力しながら活動を続けている。



見沼田んぼキレイ大作戦

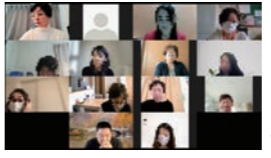
緑区連合会では、毎年6月に開催する総会を区切りとして、年5回の会長会を開催。会長会は各校での課題や悩みを共有し解決していく場として、なくてはならない重要な会となった。会長会の後には懇親会を開催し、会長同士で日ごろの労を労いながら交流を深めている。また、見沼田んぼキレイきれい大作戦や水川女體神社の竜神まつりなど、地域の取り組みにも積極的に参加している。

特色ある活動

緑区は、区名の表すとおり見沼田んぼを代表とする豊かな緑と歴史、未来の詰まった地域。浦和レッズのホームグラウンドで、ワールドカップやオリンピックのサッカー会場としても有名な埼玉スタジアム2002、パナマ運河より百八十余年も前の享保十六年(1731年)に開通した開門式運河「見沼通船堀」をはじめ、「緑区お宝100選」にも紹介されている水川女體神社など、多くの有形・無形文化財を有している。未来に向けては、埼玉高速鉄道のターミナルである浦和美園駅のある美園地区を中心に、A1、IOT、データを活用した「スマートシティさいたまモデル」の推進もおこなわれている。そういった素晴らしい環境で、さいたま市の未来を担う子ども達の成長をサポートするため、学校・地域・PTAで連携しながら活動している。

副会長交流会

例年十月に、区内全てのPTA副会長を対象とした「副会長交流会」を開催している。令和3年度は感染症対策及びICT化推進の観点からZOOMによるオンライン開催となった。この交流会では、各単会の運営上での悩みや取り組んでいる事例などを共有することで、他校での取り組みや工夫、考え方を知る場となっている。また、普段交流の無い副会長同士が集まり、交流することもできるため、好評な事業の一つとなっている。



緑区歴代区連会長	
篠原 唯史	平成十五年
榎本 昇	平成十六・二十一年
笠井 健太	平成二十二年
大熊 博	平成二十三年
小坂 佐紀	平成二十四年
金子 孝行	平成二十五・二十六年
今井 正樹	平成二十七年
田中 豊太	平成二十八年
佐藤 度	平成二十九・三十年
伊橋 勲	令和元年・令和二年
内田 宜宏	令和三年・四年

さいたま市PTA協議会 「児童・生徒ワイド補償制度(こども総合保険+自転車総合保険)」 中途加入受付中

本広告は制度の概要のみを記載したものです。ご加入に際しては重要事項説明書をよくお読みください。不明な点等がある場合には代理店までお問い合わせください。

新型コロナウイルス感染症、GIGAスクール貸与端末の破損補償についても対応!!

- ・特定感染症補償、病気の補償は新型コロナウイルス感染症も補償の対象となります。
- ・学校からの貸与端末を使用しているお子さまが偶然な事故で貸与端末を破損させ法律上の賠償責任が発生した場合に補償の対象となります。

埼玉県自転車条例
さいたま市自転車条例
に対応しています!

団体割引等適用により
保険料が割安!

自転車事故等による損害賠償責任も
無制限で補償

※ご家族全員が対象 ※国外は3億円まで補償となります。

示談交渉サービス*付き!
小学5年男子児童の自転車衝突で母親に約9,520万円の賠償命令(神戸地裁判決)
*示談交渉を行う場合は、被保険者および被害者の同意が必要です。国内のみのサービスとなります。

ケガの補償 24時間補償で安心!

- ◆学校内でのケガはもちろん、休日も含め24時間ケガを補償!
- ◆地震等によるケガも補償!
- ◆細菌性食中毒、ウイルス性食中毒や熱中症による死亡・後遺障害・入院・手術・通院も補償!

扶養者の方が事故で万一の際に
育英費用を補償

高校3年間と大学等の合計で約939万円の教育費がかかります!

出典:株式会社日本政策金融公庫「教育費負担の実態調査結果」(令和元年度)

取扱代理店・扱者
AIGパートナーズ株式会社
さいたま支店
〒330-0846 さいたま市大宮区大門町3-54
TEL 0120-991-341(通話料無料)
(受付時間:9:00~17:00 土、日、祝日、年末年始を除く)

ご好評につき、
「中途加入」受付中です。

詳しくは左記取扱代理店・扱者までご連絡ください。

〈引受保険会社〉
【幹事会社】 **AIG損害保険株式会社**
担当支店: 埼玉支店
〒330-0846 さいたま市大宮区大門町3-54
TEL: 048-641-4050
【非幹事会社】 東京海上日動火災保険株式会社
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
S-220568(2023-07)

新役員紹介



会長 溝口 景子 (中央区・与野南中)
副会長 内田 宜宏 (緑区・美園南中)
 川田 倫世 (北区・土呂中)
 鈴木 昇 (浦和区・常盤小)
 植杉 嘉明 (南区・大谷口小)
 富田 英雄 (大宮北中学校長)

常任理事 久下 真央 (西区・指扇北小)
 阿部 純一 (北区・泰平中)
 小野 雄大 (大宮区・大宮小)
 原口 圭 (見沼区・春里中)
 出口 裕貴 (中央区・与野本町小)
 飯塚 清 (桜区・田島小)
 富岡 大輔 (浦和区・針ヶ谷小)
 植杉 嘉明 (南区・大谷口小)
 内田 宜宏 (緑区・美園南中)
 新井 有理 (岩槻区・慈恩寺小)
監事 三島 公夫 (常盤小学校長)
 田中 智康 (桜区・大久保小)

事業委員会
 ◎ 委員長 菅野 千香子
 ◎ 副委員長 軽谷 千陽子
 ◎ 委員 池田 雅俊、中嶋 薫、山本 義行、小川 洋光、山本 義行、浜口 健司、工藤 佳将、池田 雅俊、田中 隆介、富田 敏弘、仁井谷 聖美、佐野 大、西村 京一朗、松本 将弘、鈴木 崇晃、郡島 典幸、中村 学、田中 隆介

令和4年度 事業計画

4月	広報紙コンクール 役員研修会
5月	広報紙づくり講習会 楽しい子育てキャンペーン三行詩募集 (5~7月実施)
6月	定期総会 関東ブロック 会長・事務局長会議 (公社)日本PTA全国協議会定時総会
7月	役員セミナー 広報紙発行
8月	日本PTA全国研究大会山形大会
9月	指定都市PTA情報交換会さいたま市大会
10月	関東ブロックPTA研究大会山梨大会 教育委員会交流会
12月	役員研修人権講演会
1月	PTA活動総合補償制度説明会
2月	教育委員会懇話会
3月	広報紙発行

令和4年度 役員研修会

令和4年4月に大宮駅東口に開館した「RaiBoC Hall」(新しいたま市民会館おみやぎ)において新たに役員になれる会員向けの「役員研修会」を開催した。第1部は当会茂手木副会長による「組織運営及び会計について」を、第2部ではさいたま市教育委員会 細田眞由美教育長より「教育に関わるPTAの役割」〜激動する時代を生きる子ども達のために〜と題したご講話をいただいた。閉会後のアンケートでは「教育長の講話を一般の保護者にも公開してほしい。」「組織運営や会計処理の悩みがすっきりした。」など高評価をいただいた。細田教育長のご講話をYouTubeにて限定公開いたします。

YouTube 限定公開
 大変反響のあった教育長の講話です。ぜひご覧ください。



<https://youtu.be/cR5LJikNLVs>

激動する時代を生きる子ども達のために

5月18日、さいたま市教育委員会のトップで、子育ての大先輩でもある細田眞由美教育長に子育て真っ盛りの会長たちがお話を伺ってきました。



コロナウイルスによりこの2年間、当たり前前の生活や営みが失われた。そうした喪失感が子ども達に無気力や「どうせだめかもしれない」などと思わせてしまったかもしれない。今年には修学旅行など、どの学校も感染対策のもとに実施できているが、昨年度までは代替案での実施しかできなかった。「館岩」の行事も実施できなかったのに行けないのか」「できないのか」といったがっかり感。「どうせ…」という感覚を子ども達に感じさせてしまっていた。だから、その傷つきの体験を子ども達にさせてしまったということをしつかり私たち大人が認識したうえで子どもに接することが大切。この喪失感が子ども達から、やる気や元気を奪っているということに大人がきちんと向き合いたい。たとえば、「怠けている」とか「行きたくないんでしょ」のような

令和3年度さいたま市PTA協議会広報紙コンクール 受賞作品一覧



★小学校の部★		★中学校・特別支援学校の部★	
優秀賞	佳作	優秀賞	佳作
かみおちあいNEWS 上落合小学校 さいと 道祖土小学校 やなぎの樹 片柳小学校 東みやした 東宮下小学校 しびらき 新開小学校 つちあい 土合小学校	あおば つなぐ おおくぼ みぬま みなみ みなみ 北浦和 せんだん ほんまちだより 与野本町小学校 はばたき つばさ小学校	上大久保 上大久保中学校 泰平 泰平中学校 さいたま八王子 八王子中学校 HARUSATO 春里中学校	はらやま 原山中学校 飛翔 西原中学校 おおとり 埼玉大学教育学部 附属中学校 希望を胸に 美園南中学校 南十字星 与野南中学校 なぎさ 岸中学校
~日Pコンクールへ出品~		~日Pコンクールへ出品~	
【応募作品数】 小学校 42(103)		【応募作品数】 中学校・特別支援学校 22(62) 合計 64(165)	
		※()は全体数	

令和4年度 さいたま市優良PTA団体表彰校

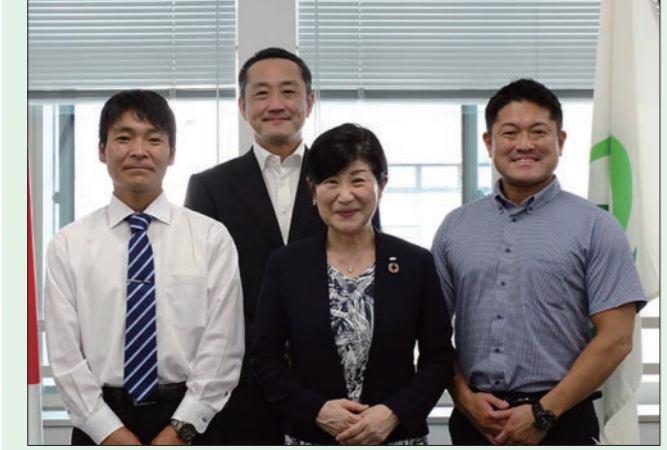
大谷小学校保護者と教職員の会 善前小学校PTA「みどりの会」
 上大久保中学校PTA 片柳中学校PTA 第二東中学校PTA



広報委員長 大倉慎吾



広報副委員長 中村学



インタビュー後に細田眞由美教育長と記念撮影

声かけはタブー。子ども達が何かを語り始めたなら全身で聞き、自分が親に気持ちをしやべっていいんだという安心感を与えることが大切。学校も同じように安心感を与えるということがものすごく大切になると思う。

親子の信頼関係は一朝一夕では作れない。私たちの姿勢として一番大切なことは子どもの想い、考えを聞ける寛容性。親は人生経験もあり、社会的にも信頼を得ている大人なので、子どもについても先回りをして正解を言いたくなる。子どもは親から正解や、正解のようなもの、親の考えを言われた瞬間には自分の頭で考えようとしなくなる。自分で考えたとしても親に言おうと思わなくなる。親は先回りして考えを言ったり、こんなことを言おうとこうなる、みたいなことをついでに言いたくなる。子どもを愛しているからこそ言いたくなるのだが、グッと我慢して、まずは子どもの考えを聞くという

態度が私たち「親」に求められると思う。その積み重ねで子ども達は自分の頭で考え、表現する力をつけていく。そのときによく、それはスピーチとかプレゼンの力か?と聞かれる。会社に入りお客様に豊かなプレゼンをする力は誰かに評価される。しかし誰かに評価されるからという考えが先行すると、子どもは評価されないとならなくなってしまう。自分の頭で考え、自分で考えを表現する。自分らしく豊かな人生を歩むために自分の頭で考え抜いていくことが大切だということをお私達は身をもって子どもに伝えていかなければならない。

皆さんも考えてみてほしい。(談)